



同一システム導入による連携業務効率化を通じた受注拡大計画

株式会社國健鉄筋工業

連携主体の発注元である國健鉄筋工業と、連携先の平良産業・遠藤鉄筋工業とハンディターミナルを活用することで、工事で使用する鉄筋等の材料の管理、納品ミスの防止が可能になった。また、QRコードを活用し、自動設定されたサイズへ切断、曲げ加工が可能になり、作業時間短縮・製品品質向上を実現した。

導入前の課題

当社は 50 年近く鉄筋工事業に従事し、積極的に技術や安全基準の向上、労働条件等の整備を行い、沖縄県の鉄筋事業者の地位向上に取り組んでいる。近年、インバウンド需要から大規模建設工事案件が増加。大手ゼネコンからの工事依頼に対応するため、同業者と連携して対応している。しかし、連携企業ごとに異なる社内システムの利用から、データ作成の手間や転記ミスで工事への影響に繋がり問題となっている。また、当社では手動操作の切断機、曲げ機械の作業により熟練技術者の作業負担軽減や手動による作業ミスが課題となっていた。

補助事業での取り組みと成果

導入した設備を連携体全社による検証作業を実施。導入したシステムをクラウド上で管理することでデータ形式の統一化や修正作業時間の削減、人件費削減、作業時間短縮となった。また、経験の浅い技術者でも作業ができるため、最終確認を熟練者が確認する作業フローにすることで、作業負担軽減にも効果があった。当社で導入した、自動切断機、自動曲装置は連携企業へ工事に必要な鉄筋の加工業務の効率化を図るため導入。寸法や本数、長さや角度を設定することで自動で作業するため、作業ミスの削減や作業時間の短縮に繋がることを確認できた。

課題

取組と
成果



本数分を自動で曲げる



自動で切断している様子



若手技術者でも操作が可能



店舗外観

補助事業後の展開

経営上の問題として人手不足がある。建設業で働く外国人労働者は増加しているものの、当面は人手不足の解消は難しいと考えられる。今回導入した設備で、データ連携、作業時間の短縮を通じたコスト削減、人材の有効活用による受注案件の拡大が実現し、競合企業との差別化が期待できる。今後は連携事業以外の受注業務行いながら、事業効率化を図り、事業化後1年目から売上アップにつなげていきたい。

With コロナ、After コロナにおける取組

4月はホテル建設のキャンセルなどがあり、売上が60%まで減少した。融資や助成金の活用、従業員の分散出勤など対応を行っていた。技能実習生の雇用も予定していたが、現在も来沖していない状況である。コロナ禍により経理関係ソフトをIT化、各種打ち合わせがリモートとなり、これまで不要としていた作業が減った良い面もある。今後もITや機械設備の導入をしつつ、人材育成を中心に成長させていきたい。



代表取締役 栗國 達成

会社概要

事業者名：株式会社國健鉄筋工業

代表者：代表取締役 栗國 達成

住所：沖縄県中頭郡中城村奥間 887

資本金：980 万円

従業員数：14 人

電話：098-870-3832

FAX：098-870-3833

設立年月日：平成26年2月28日

業種：職別工事業（設備工事業を除く）

URL：<http://kn-tekkin.com/about/>